

アレクチニブ塩酸塩 Alectinib

●アレセンサ(中外)

カプセル：20mg,40mg

【警告】間質性肺疾患に注意 →■頁
同既往歴に慎重に→増悪.

検査：胸部CT,必要に応じ動脈血酸素分圧,動脈血酸素飽和度,肺胞気動脈血酸素分圧較差,肺拡散能力等.

【特】未分化リンパ腫キナーゼ(ALK)阻害薬.

【効】ALK融合遺伝子陽性の

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌.

但し,抗癌薬未投与例,術後補助化学療法へは未承認.

【用】1回300mg1日2回空腹時内服.

【体内動態】a.血中濃度のピークは2.4時間,半減期は19時間(空腹時).連続8日で定常濃度.

b.空腹時に対し食直後服用では,ピークは4時間→5.3時間と遅れCmaxは1.8倍.

c.尿中累積排泄率は0.5%

d.主にCYP3A4で代謝.CYP3A4の時間依存的な阻害,P-糖蛋白及びBCRPを阻害.**【禁】**妊婦.

授乳禁止.

【慎】肝機能障害→増悪.

AST,ALT,ビリルビンを定期的に検査.

【注】好中球減少,白血球減少等定期検査.

【副】96%**【A.重大】**a.間質性肺疾患1.7%

b.肝機能障害

c.好中球減少25%,白血球減少20%,

d.消化管穿孔,e.血栓塞栓症.

D.●味覚異常34%,●頭痛8%,末梢性ニューロパチー,傾眠,便秘,●口内炎17%,悪心,●下痢10%,歯周病,胃腸炎,腹痛,徐脈,心電図T波逆転,●上気道感染6%,肺炎,肺感染,咳嗽,気胸,●貧血5%,●発疹34%,光過敏症,爪障害,爪囲炎,手掌・足底発赤知覚不全症候群,●筋肉痛15%,関節痛,筋痙攣,●ビリルビン↑36%,●AST↑32%,●ALT↑13%,●Al-P↑13%,硬化性胆管炎,●血中クレアチニン↑31%,腎機能障害,眼乾燥,結膜炎,麦粒腫,黄斑症,血中CK(CPK)↑,倦怠感,●トリグリセリド↑5%,浮腫,発熱,疲労,食欲減退,血糖↑,血中Mg↓,高尿酸血症,細菌性前立腺炎,腫瘍出血.